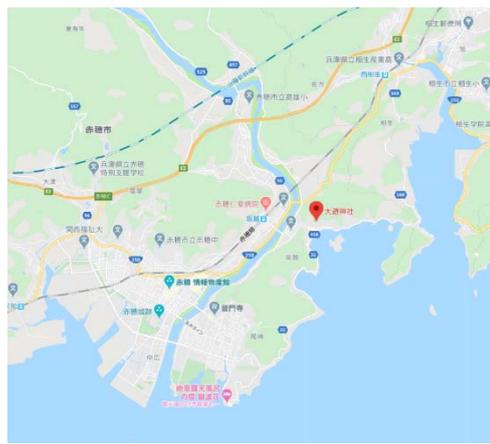


2020. 3. 11

畑 啓之

兵庫県赤穂市坂越の大避神社（災いを避ける）で新型コロナウイルスの鎮静祈願祭

大避神社(おおさけじんじゃ)の意味するところは「大きな災いを避ける」である。Wikipediaにも「蘇我入鹿の迫害を避けて」とある。



その大避神社で明日「流行病鎮静祈願祭」との張り紙を見かけた。この神社の名前とマッチした祈願祭であり、大きなご利益があることを願っている。

### 大避神社 (Wikipedia)

兵庫県赤穂市坂越（さこし）の宝珠山麓にある神社。旧社格は県社。瀬戸内海三大船祭りの1つ「坂越の船祭り」（重要無形民俗文化財）で知られる。

秦氏は、6世紀頃に朝鮮半島を経由して日本列島の倭国へ渡来した渡来人集団とされる。秦河勝は秦氏の族長的人物として聖徳太子の元で活躍した人物である。

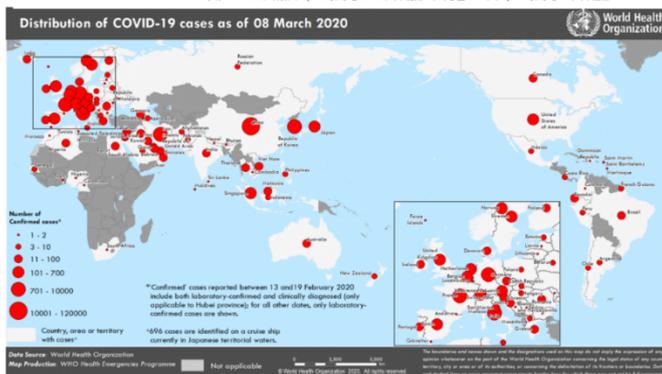
秦河勝は太子死後の皇極3年（644年）、蘇我入鹿の迫害を避けて海路をたどって坂越に移り、千種川流域の開拓を進めたのち、大化3年（647年）に80余歳で死去、そして地元の民がその霊を祀ったのが当社の創建という。神社正面の海上に浮かぶ生島（国の天然記念物）には秦河勝の墓があり神域となっているため、現在でも人の立ち入りを禁じている。

2020年3月8日18時時点での世界の感染状況（日報の1ページ目）

全世界で105586人の確定例（24時間で3656人増加）

そのうち中国の確定例が80859人（24時間で46人増加）、死者3100人（24時間で27人増加）

中国以外の確定例が101の国・領域で（ブルガリア、コスタリカ、フェロー諸島、フランス領ギアナ、モルディブ、マルタ、マルティニーク、モルドバで新規報告）24727人報告（24時間で3610人増加）、死者484人（24時間で71人増加）







**歓迎** ようこそ歴史の町 **坂越へ**

国指定無形民俗文化財 船渡御祭の

← **大避神社** 徒歩 1 分

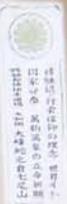
赤穂市有形文化財指定の

← **妙見寺 観音堂** 徒歩 6 分

桜の名所の

← **船岡園** 児島高德郷墳墓  
和田範長公一族墓所(頂上)

赤穂商工会議所



## ■坂越の船祭 (大避神社祭礼)

坂越の船祭は、大避神社の秋の例祭であり、神輿が神社から生島にある御旅所までを渡御するもので、この生島が浮かぶ坂越湾を舞台に繰り広げられる。

毎年10月の第2日曜日の本宮では、神社から眼下の海岸まで、鼻高と獅子を先頭に、各町の頭人が神輿に付き添いながら行列した後、海岸から御旅所のある生島まで、2艘の櫓伝馬に曳航された獅子船、5艘の頭人船、楽船、神輿船、歌船からなる船団を連ねて湾内を悠然と巡行する海上渡御となり、祭礼はクライマックスを迎える。

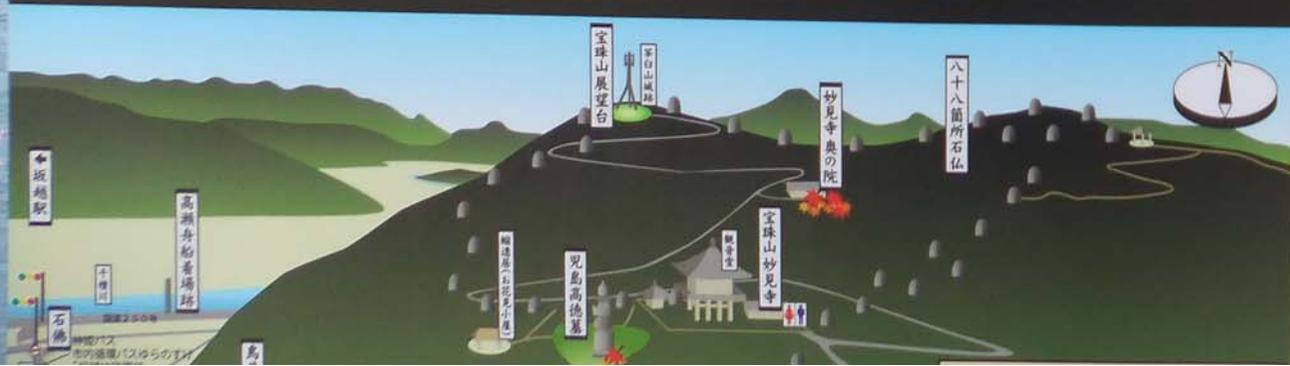
海上渡御の船団に使用される各船は、それぞれの役割ごとに仕立てられた祭礼専用の伝統的な木造和船が用いられており(兵庫県有形民俗文化財)、天幕、五色の吹き流し、幟、提灯などで飾られた船団は、かつての大名行列の船団の華麗さを彷彿とさせる。またこの船渡御の形態のほか、氏子から選ばれる頭人といった古風な習わしが残されていることなど江戸時代からほぼ変わらぬ姿で伝承されており、瀬戸内海を代表する大規模な船祭の典型例として、平成24年3月8日に国重要無形民俗文化財に指定された。



宵宮の獅子舞



陸渡御



## ■周辺の見どころ

### 旧坂越浦会所



天保2～3(1831～1832)年にかけて建築され、明治まで坂越浦の会所として使用されたほか、赤穂藩主来訪

### 奥藤酒



人跡を留めぬに... 摂津国難波の浦よりうつほ舟に乗りて、風にまかせて西海に出づ。播磨の国しゃくしく坂越の浦に着く。浦人舟を上げて見れば、かたち人間に変わり。諸人に憑き崇りて、奇瑞をなす。則、神と崇めて、国豊也。大きに荒るゝと書いて、大荒大明神と名付く。今の代に、靈驗あらた也。本地毘沙門天王にてまします。上宮太子、守屋の逆臣を平らげ給いし時も、かの河勝が神通方便の手にかかりて、守屋は失せぬと云々。(世阿弥『風姿花伝』より)

## ■ 秦河勝

秦氏は百濟から渡来して帰化した弓月君を祖とし、土木、養蚕、機織などの技術を發揮して、大いに栄えた古代氏族です。その中でも秦河勝は、飛鳥時代前半(6世紀末～7世紀半ば)に聖徳太子に仕え、山背国葛野郡太秦(現在の京都府京都市右京区太秦)に広隆寺を創建したことで有名です。

大避神社の縁起によれば、秦河勝は聖徳太子死後の皇極3(644)年9月12日に、蘇我入鹿の乱を避けて海路で坂越に漂着し、千種川の開拓を進めたのち大化3(647)年に坂越の地で没したと言われています。坂越湾に浮かぶ生島(樹林は国指定天然記念物)には、秦河勝の墳墓と伝える古墳が今も残されています。

## ■ 大避神社

生島を禁足地とし、島内に祭礼の御旅所を擁する大避神社は大避大明神(秦河勝)を祀る神社で、養和元



伝・秦河勝の墓(生島内)

あり  
まで  
ぶ坂  
毎  
社か  
頭  
ら行  
島  
船、  
かす  
ク

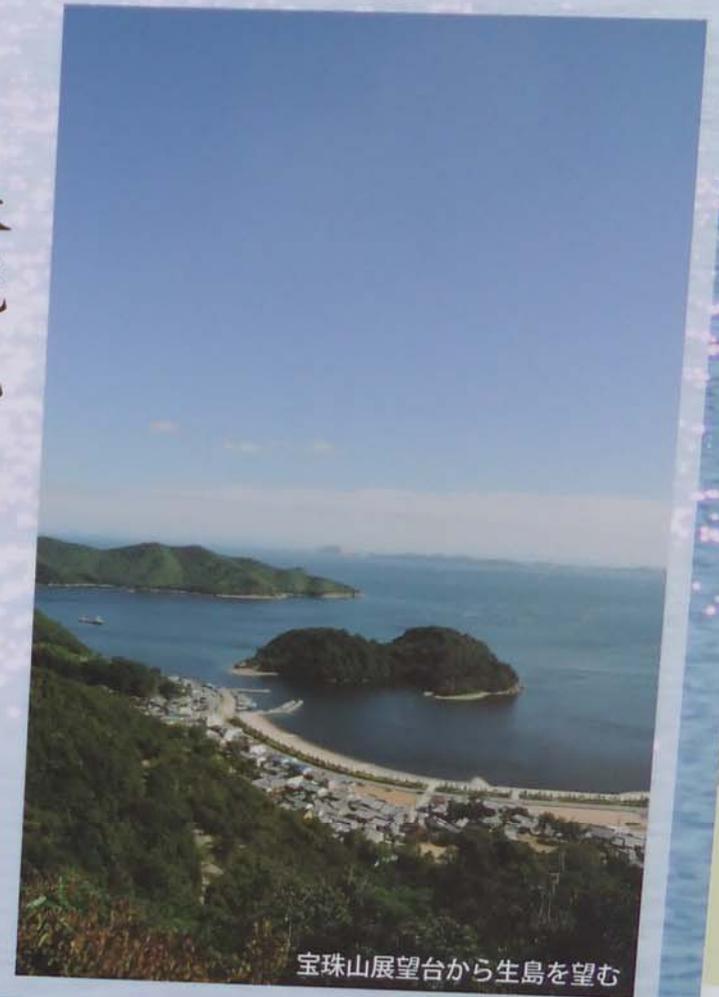


います。坂越湾に浮かぶ生島（樹林は国指定天然記念物）には、秦河勝の墳墓と伝える古墳が今も残されています。

## ■ 大避神社

生島を禁足地とし、島内に祭礼の御旅所を擁する大避神社は大避大明神（秦河勝）を祀る神社で、養和元（1182）年にはすでに有力な神社でした。旧赤穂郡（現赤穂市、相生市、上郡町）には大避神を祀る神社がかつて28以上あり、古代から中世にかけて旧赤穂郡と秦氏との密接な関係が古文書等からも判明しています。

大避神社の祭礼は、秦河勝が坂越に漂着した日を祭礼日として始まったもので、「坂越の船祭」（国指定重要無形民俗文化財）は、瀬戸内三大船祭の一つに数えられています。



宝珠山展望台から生島を望む



大遊神社





大遼神社

茶臼

茶臼

百八石





御神燈

御神燈

願主  
益之

奉獻  
...

奉獻  
...

...



兵庫県有形民俗文化財

祭神舟船 桒船

全長	七八五米
幅	二一五米
深さ	〇六〇米

この船は国造舟無形民俗文化財

「船渡沖祭」に使用されたもので、

楽人が乗って雅楽を奏した。

現在は復元船が使用されている。

祭礼船十二隻の中でこの船

だけが屋形をもつ。

渡御に際しては内部に二畳を

敷き、幟・吹き流し・幕・懸段簾

提灯で儀装される。

大進神社と雅楽の関係は深く

祭神を祖と仰ぐ雅楽家には

東儀岡・蘭・林の四家があり、

雅楽を伝承活躍されている。

この船は赤穂市選定保存技術保持者

湊 隆司 氏に寄復元されたものである。

船渡沖祭は毎年十月第二日曜日

(平成十二年度伝統文化保存団体

活動基盤整備事業)



御祭神

御祭神  
大正十一年  
御祭神

御祭神

御祭神

御祭神

宮  
御祭神  
大正十一年  
御祭神

御祭神



十二日 午前八時  
流行病鎮靜  
祈願祭

